

目次

I 平成29年度事業概要編

概	要	1
沿	革	1
予 算 ・ 決 算		2
事 業 統 計		3
所 員 名 簿		3
試 験 ・ 検 査 業 務		4
調 査 ・ 研 究 業 務		8
行 事 お よ び 見 学 の 報 告		19

II 調査・研究報告編

[報文] 大阪市浄水処理施設の水質中のダイオキシン類について

先山 孝則・他 21

平成 12～29 年度に大阪市水道局の浄水処理施設において水質中のダイオキシン類調査を実施した結果、常に安全で安心な水道水を供給できる状態が十分維持されていることが確認できた。また、ダイオキシン類は、浄水処理工程において凝集沈澱処理までで 92%以上、急速砂ろ過処理後には 97%以上が除去され、比較的水溶解度の高い成分では若干除去率が低いことが明らかとなった。

[研究ノート] ごみ焼却施設から発生する主灰を貯留中に起こる小規模爆発の要因究明

加田平 賢史・他 29

主灰を貯留中に発生する小規模爆発は、水素が原因であると考えられた。主灰が接する溶液のpHが高いほど、水素の発生量は多くなった。また温度が高いほど、水素が発生する反応が進むことがわかった。水素は拡散速度が非常に速いが、主灰の含水率が高いと主灰の下層に蓄積されることが推測された。

[研究ノート] 仕上塗材中石綿の定性分析

酒井 護 33

2017年以降、仕上塗材中石綿の定性分析に関する依頼が増えている。仕上塗材中の石綿は、吹付け材や成形板中のものと比較して特異な事例が見られた。これらの事例についてまとめるとともに、それらの点に由来し定性分析において留意が必要となる事項について報告する。

他紙発表および学会発表要旨	39
---------------	----